

神経衰弱

それは事実なのだ

二人の人間

体の不自由な五人の母親と

印刷屋で働く一人の娘とが

ひと月三千五百円で生きているのは

麦だらけの粘りのない飯に

味噌をつけ塩をふりかけ

黙って毎日食べている

お菜（かず）はいつも葉っぱばかり

そうして毎日暮している二人の人間

それが自分の身近かに暮らしているとき

それが辛くないのは人間か

ときどきそれを想い出し

仕事を手につかなくなることが

「動揺的」で「日和見」なのか

心臓が泣くのを聞きながら

乾いたパンを食べながら

沈んだ顔になることが

どうして「神経衰弱」なのか